

1. 配偶者選択における親のイメージ

配偶者選択における深層心理の問題として、親が与える影響も重要である。

配偶者の選択に際して、意識的に、あるいは無意識的に自分の親をモデルにする。

田村健二(1923～)は親をモデルにする際の3つのタイプを分類した。

- (1) () タイプ・・・親をプラスのモデルとして、親に似た配偶者を求める。
- (2) () タイプ・・・親をマイナスのモデルとして、親と反対の特性を持つ配偶者を求める。
- (3) () タイプ・・・親をモデルとせずに、まったく別のものを求める。

2. 配偶者選択過程

アメリカ合衆国の社会学者ルイスは、現代アメリカの中産階級に見られる配偶者選択過程以下の通り示した。

- (1) () 性認知の過程
- (2) () 感達成の過程
- (3) 自己 () の過程
- (4) () 取得の過程
- (5) () 適応の過程
- (6) 関係 () 化の過程

(1)の達成度には、社会・文化的背景、()、関心、()があげられる。(2)の達成度には、話しやすさ、相互()、関係の満足、相互の自己確認があげられる。(3)～(5)の達成度に関しては、()の類似性、()相補性、()相補性があげられる。(6)の達成度に関しては、関係を発展させる意欲、機能単位としての二人関係、() (他の関係と二人の関係との) 確立、相互の誓約、カップルとしての()の確立があげられる。

3. 結婚の意味と機能

結婚の機能には、大きく分けて2つある。個人の欲求充足に貢献する側面は、()機能、社会の期待に答える側面は()機能と概念的には区別されるが、両者は表裏一体の関係にある。

第一に、個人に対する()充足の機能と社会に対する()維持の機

能があげられる。

第二に、個人に対する()を持つ欲求の充足を、社会に対する()の機能がある。

第三は、個人に対する()付与の機能と、社会に対する()拡大の機能である。

4. 離婚に対する社会の対応

離婚に対する社会の対応は、離婚をまったく認めない(1)結婚()主義と、離婚を認める(2)結婚()主義に大別できる。(参)の場合は、3つに大別できる。

第一は、()主義である。これは、特定の原因を法に定め、これに合致する事態があるときには、離婚を認めるというものである。この場合、離婚原因にあたる行為をみずからなしたものは離婚の要求はできないという、()ハンドの原則が付随している。

第二は、()主義である。現実に夫婦関係が完全に破壊され、夫婦であることが双方を傷つける以外何ものでもないような状況にある場合には、法に定められた原因がなくても、あるいはみずから離婚原因をつくったものからの請求であっても、離婚を認めようというものである。

第三は、()主義である。結婚が自由である限り、離婚もまた自由であるという考え方である。離婚に対する社会的()を排除して、個人の自由な意思にゆだねられるべきものであるとする。

5. 役割期待・役割認知・役割遂行

たとえば、妻が夫に対して、近所づきあいについての理解と共感を示し、妻の行動を支持し、激励や助言を与えてくれることを期待しているとすれば、これが夫に対する()である。

他方、夫は夫で彼の役割について、彼なりの認識を持っているが、これを()と呼ぶ。

夫は、みずからの役割認知通りに役割を遂行するのではない。妻の期待やその他の家族員の期待なども知覚しつつ、自分の役割認知に沿いつつ役割をとらえなおす。これを()という。

()に対して、妻などから期待通りであったとか期待以上であったとして感謝や賞賛が与えられる。あるいは期待はずれであったなどの非難が向けられる場合もある。これを()という。

役割は期待される行動様式であるとともに、学習された行動様式である。人は社会規範によって役割のおおよその輪郭を学び、()の役割期待や役割評定によって、細目を学習していくのである。

社会学

第6回 2022年 5/30 日高

1. ハーシの統制理論

社会的絆には、以下の4種類がある。(東京学芸大学 長谷川いずみより)

細江勝彦(2002)は以下のようにまとめた。ハーシの統制理論とは、少年などが犯罪に手を染めるのはなぜか?を説明した理論である。

(1) アタッチメント

Q1 () や Q2 () などの他人に対する愛情である。道徳的絆の中で最も重要なものとされる。Q3 () の対象となる人々が持つ Q4 () や考え方(例えば法を破ってはいけないなど)を、当人が受け入れることは容易である。

(2) コミットメント

犯罪を行うことによる Q1 () 勘定のことである。反法的な行動をとれば、これまでの順法的な行動によって(法に頼り、傾聴することで)得ていた Q2 () や Q3 () を失うことになる。つまり、犯罪は結果として割に合わないで行わない、という考えにつながるのである。

(3) インボルブメント

順法的な生活に関わる時間が長ければ、それだけ Q1 () 的なものに関わる時間や機会が少なくなる。

(4) ピリーフ

社会的な規則・法律・Q1 () の正しさを信じ、Q2 () することである。これらの絆が少ない状態、例えば Q3 () に親密な愛着を感じていない少年はそうでない少年よりも非行を行う割合が多いとされている。しかしこの理論は、社会的絆が合法的な性質を持つことを前提にしているが、例えば Q4 () 少年の集団に対して愛着を持てば、逆に犯罪を生むことにつながる。理論のこうした問題点については、多くの追加研究が行われている。

2. 養老孟司の「脳化」理論

養老：感性で捉えられない論理的なことはすべて脳で言うと左脳が司るんですよ。左脳ってすごく変で、論理と手続きがきちんとしているんです。だから、それがそのまんまでいくと、すごく変なことになってきても、それでも Q1 () なんです。そういうのって、ひょっとすると人間の意識、特に左脳が持つ、穴じゃないかと思う。しかも人間が自分では気付かない「穴」。

糸井：ああー。

養老：こういう抽象的な世界、文明のことを、ぼくは「脳化社会」と言ってきたんです。意識が作ってる社会って、意識が根本的に持つ「穴」を埋められないんですよね。しかも穴はどんどんどんどん広がっていく。その典型が官庁です。平和が続いてなにも起こらない前提で手続きをどんどん決めて、全部法律にしていけます。法律は、言葉だから、左脳のなんですよ。

<http://www.1101.com/yoro/index.html>

養老孟司さんと糸井重里さんの対談 その3「それは管轄外です」より

人間は、自分の Q2 () に似せてその社会を作る。つまり、自分の持っている Q3 () 的な社会を作ろうとする。うまくいっているときはいいのだが、逆に現代社会はうまくいくことが Q4 () になりすぎていて、うまくいかないと Q5 () が生じたり、Q6 () を爆発させたりする。

人間同士の関係では、相手が自分の Q7 () 通りに動く、あるいは Q8 () を持つはずがない。それなのに、相手が自分の理想通り動かなければ、暴力をふるったりもする。それが、児童 Q9 () や Q10 () につながったりする。

しかも、現代社会は脳の中をどんどん実現させている。さらに理想が Q11 () くなり、その理想に合わないものは、Q12 () したりそれに対して暴力をふるうのである。

1. 家族の（ ）化。結婚の（ ）化

- (1) 家族は（ ）化している。
- (2) 家族の（ ）化とは、家族における（ ）割より、個人の自己（ ）を優先することである。
- (3) 結（ ）も（ ）化している。
- (4) 結（ ）はかつて、（ ）と（ ）の結びつきであった。
- (5) その証拠として、見（ ）結婚は減少して、（ ）結（ ）が増加している。
- (6) 結（ ）式の（ ）状は、かつては（ ）の名前で（ ）していた。現在は本人の名前でそれを行う。

2. なぜ晩婚化、非婚化するのか？

- (1) 個人の自己（ ）の優先は大きな理由としてあげられる。
- (2) (1) について。たとえば結婚するより、（ ）事の優先、（ ）味の優先、（ ）学の優先などがあげられる。
- (3) ()雇用の増加, 結婚に対する()が高くなっている。

3. 少子化の弊害

- (1) 少子化が進むとどのような弊害があげられるのか？ひとつは労（ ）力人口が減少する。そうすると、生（ ）力の不足、消（ ）力の減少が起こり、経済が縮小する。
- (2) また年（ ）保険、（ ）療保険などが破たんし、高（ ）者を扶養することが困難になる。
- (3) ()学などへの入学が容易になり（ ）育の質が低下する。
- (4) 子供がすくなくなると、子供の自（ ）する力が弱くなる。社（ ）性の養成が困難になる。

4. 少子化の理由

- (1) 先に挙げた（ ）婚化、（ ）婚化は、大きな理由としてあげられる。
- (2) また、（ ）婚の増加、（ ）事と家（ ）の両立の困難があげられる。特に後者は（ ）間と、（ ）銭の両面からそれが言える。

5. 夫婦の伴侶性

- (1) ()ての時間が短くなり、また平均()が伸びたため、夫婦の

みで暮らす時間が増加している。()ての時間が短くなったのは、()化の影響である。

(2) 子供が()立った後の夫婦のみで暮らす期間を()ネストと呼ぶ。この時間が現在人生の(/)を占める。

(3) 夫婦の伴侶性を高めるためには、共通の()味を持つ、共通の()人を持つ、お互いにその日の()を伝え合う、ともに()出するなどの必要がある。

6. 子供の脆弱化。成人の個人化。

- (1) 子供が弱くなってきている。()ターの増加、()の増加はその例である。
- (2) また()シングルも増加している。()シングルとは、()に寄生する()身者を指す。
- (3) 成人の個人化がマイナス方向に進むと、個人の自己実現ではなく、単なる()ままと化してしまう。気に食わないと暴力をふるう()、()虐待などがその代表例である。